

113

contents

展覧会×トーク

日本画の明治維新 もりかんさい かのうぼろがい 森寛斎と狩野芳崖

防府天満宮関連展示

何モカイテナイ絵?抽象画への招待

旅

夏の展覧会

年間スケジュール

天花

TENGE



雲谷芳崖 山水図屏風(右隻) 寛長5年(1600年)頃 山口県立美術館蔵

コレクション展

年間シリーズ企画 雪舟と雲谷派

雪舟の画風を受け継いだ雲谷派の創立とその発展を、年間を通じて5回の展示でご覧いただけます。当館学芸員の講演およびギャラリー・トークと併せて、雪舟と雲谷派の世界をお楽しみください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| I.雲谷派創立 | 5/11～6/13 |
| II.雲谷派画題辞典 中国名所 | 7/21～8/22 |
| III.雪舟と雪舟流 | 10/27～12/12 |
| IV.雲谷派画題辞典 故事人物 | 1/8～1/30 |
| V.寛永の巨匠 雲谷等益 | 2/1～2/27 |

表紙作品解説

うんこくとうがん
雲谷等顔(1547-1618)「山水図屏風(右隻)」
慶長5年(1600)頃 山口県立美術館蔵

雲谷等顔(1547-1618)は、狩野永徳や長谷川等伯などが、信長や秀吉によって築かれた城郭や寺院を飾るために豪華な障壁画を描いていた桃山時代を代表する画家の一人です。等顔は画家として毛利家に仕え、雪舟筆「山水長巻」(国宝・毛利博物館所蔵)と、雪舟の旧居・雲谷庵を拝領して雪舟流を復興し、雪舟正系の画派として幕末まで続く雲谷派の祖となりました。この屏風は、微妙に使い分けられた墨の濃淡によって大気や光が見事に表現された、等顔の絵の中でも最も美しいものの一つです。その画風から慶長5年(1600)頃に描かれたものと考えられ、現存数の少ない等顔の比較的初期の作品として、きわめて貴重なものでもあります。

(学芸課主任 荏開津通彦)

、当館学
中は毎週
イアによ
で、“県



山口県立美術館蔵



山口県立美術館蔵

旅

光り輝く地中海と悠久のヨーロッパ、
果てしなく続くアメリカの原野、
そして遠い昔の人々が憧れ続けた広大な中国山水…。
画家や写真家たちが見た彼方の風景へ、
旅をしてみませんか？

★旅ニデヨウ
4.13-6.13

画家たちが見た風景、
異国の人々、こんなところ
に行きたいというあこが
れの風景を描いた作品を
展示します。なにげない
風景も旅人の目で見れば
とても新鮮。あたたかい
春は旅に出るには絶好の
季節です。さあ、旅に出ま
しょう。



福田勝治 「イタリア紀行 夜のサン・マルコ聖堂」 1955年
山口県立美術館蔵

年間シリーズ企画<雪舟と雲谷派II>

★雲谷派画題辞典 中国名所
7.21-8.22

雲谷派の画家達が描く山水画のほとんどは、中国の風景を描いたものです。この展示
では雲谷派の十八番である「西湖金山寺図」を中心に、中国の名所を画題とした山水図を
ご覧いただけます。



長富等運「西湖図屏風」19世紀 山口県立美術館蔵

防府 天満宮

夏の展覧会 6月15日-8月22日

6月からは「水」と「ヌード」をテーマにした展覧会を開催します。
暑い夏のひと時を、美術館でのんびり過ごしませんか？

コレクション展 特別企画

「水のなかへ」
「ヌード—描かれた体、撮られた体—」

同時開催

「中本達也の人物像」
「人のかたち」他

展覧会×トーク

あとちょっと知るだけで、展覧会はもっと面白い!

2010年度の山口県立美術館は、コレクション展に併せて、当館学芸員が年10回の入門講座を開きます。また、展覧会の会期中は毎週土曜日、学芸員によるギャラリー・トークのほか、ボランティアによる子ども向けギャラリー・トークも行います。展覧会×トークで、“県美(けんび)”をお楽しみください。

コレクション展
特別企画

日本画の明治維新—森寛齋と狩野芳崖—

4月13日—5月16日



森寛齋 「芥川図」 山口県立美術館蔵



狩野芳崖 「呂洞賓鉄拐図」 山口県立美術館蔵

萩出身の森寛齋(もりかんさい) (1814-1894)と、長府出身の狩野芳崖(かのうほうがい) (1828-1888)は、いずれも幕末維新时期を代表する日本画家です。同時代人であり、同じ長州出身の二人ですが、その画風は驚くほど異なっています。円山応挙を祖とする京都の円山派に学んだ寛齋の絵が、あくまで温雅で穏やかな美しさを示しているのに対して、江戸の狩野派に学び、フェノロサの指導を受けた芳崖の絵は、斬新な力強さを特徴としています。このような画風の違いは、江戸時代末の京都、江戸という二つの都市の文化・美意識の違いを反映しています。新奇で「俗」な江戸の美と、「雅」ながら保守的な京の美との違いを、二人の作風を通してご覧いただきたいと思います。



森寛齋 「松林瀑布山水図」 1868年 山口県立美術館蔵



狩野芳崖 「懸崖飛沫図」 山口県立美術館蔵

コレクション展入門講座

いずれも土曜日の14:00~15:00 美術館講座室にて 聴講料無料

- 4.17 日本画の明治維新 森寛斎と狩野芳崖 (荏開津通彦)
- 5.15 雲谷派創立 等顔と等益 (荏開津通彦)
- 6.19 絵巻入門! 松崎天神縁起絵巻を知る (岡本麻美)
- 7.10 <ヌード>と<はだか> (萬屋健司)

- 8.7 雲谷派画題辞典 (荏開津通彦)
- 9.18 抽象画への招待 (斎藤郁夫)

学芸員によるギャラリー・トーク

展覧会会期中の毎週土曜日(入門講座開講日はなし) 14:00~(30分程度)

子どものためのギャラリー・トーク(美術館ボランティアスタッフによる企画)

「みんなでみよう」

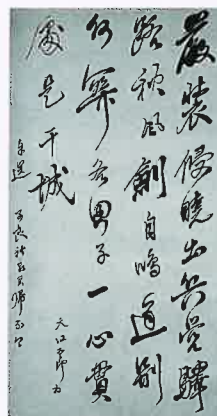
毎週土曜日 11:00~(30分程度) *4/17, 6/19, 6/26はなし

防府天満宮

防府天満宮と明治維新

4月13日-5月9日

防府天満宮には、幕末に活躍した志士たちの遺品が伝えられております。高杉晋作、木戸孝允、三条実美らの書や、坂本龍馬や高杉晋作らが落書きしたという戸板などを展示します。



「桂小五郎書」 防府天満宮蔵

大内氏と防府天満宮

6月15日-7月19日

今年は、山口開府650年記念の年です。防府市松崎町の防府天満宮には、大内氏から寄進されたと伝える品々が伝来します。大内氏ゆかりの室町時代の美術・工芸の名品を紹介いたします。



大内盛見奉納 「浅葱糸威襦取鎧 兜付」
室町時代 防府天満宮蔵 重要文化財

何モカイトナイ絵?

抽象画への招待

9月16日-10月11日



服部碩夫 「83-105-2」 1983年 山口県立美術館蔵

一見、何が描かれているかわからない抽象画。まずは、第一印象で気に入った作品の前にすわって、じっくり観察してみましよう。鑑賞ではなく観察。このちょっとした心構えの違いが、抽象画の世界への扉を大きく開いていくはずです。

10月以降のコレクション展入門講座

- 10.30 吉村芳生の自画像 (河野通孝)
- 11.6 雪舟と雪舟流 (荏開津通彦)
- 2.5 日本人の油絵 松田正平 (河野通孝)
- 3.5 香月泰男のシベリア・シリーズ (萬屋健司)

2010-2011

schedule

山口県立美術館 平成22年度年間スケジュール

	展示室A 番月室 工芸室	小林室	展示室B	展示室C	展示室D
			休館 4/5~4/12		
4	4/13~6/13 永代秀太と 近代の洋画	4/13~6/13 金工と赤間硯	4/13~5/9 防府天満宮と 明治維新	4/13~6/13 旅ニデヨウ	4/13~5/16 日本画の明治維新 森寛斎と狩野芳崖
5			5/11~6/13 雲谷派創立		5/21~5/30 第33回山口伝統工芸展
6	6/15~8/22	6/15~8/22	6/15~7/19 大内氏と 防府天満宮	6/15~8/22	6/15~8/22
7	中本達也の 人物像	人のかたち	7/21~8/22 雲谷派画題辞典 中国名所	水のなかへ	ヌード 一描かれた体、 撮られた体一
8	休館 8/23~9/15				
9	9/16~10/11 何モカイテナイ絵? 抽象画への招待	9/16~10/11 植木茂 I	9/16~10/11 山口の絵図	9/16~10/3 第64回山口県美術展覧会	
10	休館 10/12~10/26				
11	10/27~12/12 殿敷侃		10/27~12/12 雪舟と雪舟流	10/27~12/12 吉村芳生展	
12	休館 12/13~1/7				
1	1/8~2/27	1/8~2/27	1/8~1/30 雲谷派画題辞典 故事人物	1/8~2/20	1/25~1/30 第63回学校美術展覧会
2	日本人の油絵 松田正平	植木茂 II	2/1~2/27 寛永の巨匠 雲谷等益	吉祥の花鳥画	2/2~2/6 山口県立大学卒業制作展 2/10~2/13 山口芸術短期大学卒業制作展 2/17~2/20 山口大学卒業制作展
3	3/2~5/8 宮崎進の戦後	3/2~5/8 絵付けされた陶器	3/2~5/8 日本画の戦後	休館 2/28~3/1 3/2~5/8 香月泰男のシベリア・シリーズ	

Information

■休館日

月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)
館内施設整備、展示作業にともなう臨時休館
(4月5日~12日、8月23日~9月15日、10月12日~10月26日、12月13日~1月7日、2月28日~3月1日)

■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金

コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円
()内は20名以上の団体料金。
18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、
特別支援学校在学する方等は無料。

山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural
Art Museum
〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7784
<http://www.yma-web.jp/>



特別展:別途定めた料金